

擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和7年 1月17日(金) Vol.37

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」
「団結・協力を大切に」「命を大切に」



【ホームページへ】

新春の風にたなびく書き初めかな (字余り)

9日(木)から、校内書き初め展が始まりました。各学級には、一人ひとりの作品がたなびき、1月らしさが漂っています。行書体で書き慣れないこともあり、苦戦した様子がうかがえる作品もありましたが、真剣さが伝わってきました。ここでは、各クラスの金賞の作品を紹介します。



3年生「早春の青空」

2年生「新しい時代」

1年生「今年の夢」

金賞

銀賞

銅賞



【各学級で、作品を集め、掲示をしました。係の生徒に「すごい！上手だねえ」などと絶賛されて、照れくさそうにしたり、ギリギリまで「どっちがいい？やっぱりこっちかな」と周りの生徒に声をかけて比べ合ったり、いろいろな様子が見られました】

3年生は、いま

本日17日から、県内の私立高校の入試が始まります。この学校だよりも家庭に届く頃、3年生たちは、各入試会場で、筆記や面接、作文などの試験を終えている頃でしょうか。または、入試に臨む仲間に思いを馳せつつ、自分に向き合い、こつこつと学習したり、気分転換をしたりしている頃でしょうか。

私立高校が第一志望であろうとなかろうと、試験を受ける人は不安と緊張でいっぱいだろうと思います。が、最後まで諦めることなく、自分を信じて、粘り強く取り組んでほしい、と心から願っています。



【先生と一緒に、集団面接の練習をしています。一つの質問に対して、順番に答えたり、ときには答えのまとまった人から挙手をして回答したり。他の人と答える内容が同様になってしまっても問題ありません。焦らずに、堂々と答えられるとよいですね】

志願理由、中学での思い出、高校で頑張りたいことなどは、ほぼ確実に質問されるのではないのでしょうか。それ以外にも、「最近読んだ本」「尊敬する人」「長所・短所」なども、よく聞かれそうです。

学力だけでなく、人物全体を総合的に見るために行うのが面接試験です。「上手に答える。間違えずに述べる」ことよりも、「この高校に入るために、勉強も頑張ったけど、それ以外に、こんなことができます。こんなことに取り組んできました」ということを、いろいろな形で表現することが重要だと考えます。

校長室でも、何人かと面接練習を行いました。普段は穏やかに談笑する生徒も、こわばった表情で来室し、終わった後で「ものすごく緊張しました……」と、口をそろえて言っていました。それでも、私のたたみかけるような質問に対して、懸命に、誠実に回答する様子が、実に健気で、好印象でした。中には「すみません、質問をもう一度お願いします」と落ち着いて伝えられた生徒もいました。本番では、多少詰まったり噛んだりしても、気にすることはありません。尋ねられたことにしっかり答えることができれば、あなたの人柄は、必ず伝わるはずですよ。

面接試験で大切なことは、「間違えずによく答えること」ではなく、「面接官と、対話すること」だと私は考えます。相手の質問をよく聞き、自然な表情で、相手の顔を見て、言葉遣いに気をつけて、相手が聞き取れるように落ち着いて話す……これができれば、大丈夫です！ きっと、大丈夫です！



【先生だけでなく、生徒同士でも練習します。机に広げているのは、面接のガイドブック。想定問答を完成させたり、マナーについてまとめてあります】

1、2年生も頑張る



男子駅伝チーム。6区間を走ります



【サッカー部：成田市文化祭大会。18日、19日と、リーグ戦で行われます】



【バスケット部：桜井杯。勝ち上がれば、十九日も試合があります】



女子駅伝チーム。4区間を走ります

体育館で、校庭で、寒さに負けず、勝利を目指して頑張る仲間がいます。2年生は、部活の引退まであと6ヶ月。1年生も、3ヶ月後には新1年生を迎えて、部をまとめ上げ、引っ張る存在になります。時の経つのは早いものです。限られた練習時間を有効に活用し、本番では、存分に力を発揮してほしいものです。